

みなさんの思いを町へ届けます

辰野町 議会だより

No.72



絵・せきもとなおひろ

今月の記事

議会あり方検討委員会

議員定数・議員報酬 現状維持を提言

- 1 2月定例会 …… 2P
- 一般質問 …… 6P
- 議会報告会 …… 11P
- 住民アンケート結果-その2- …… 12P
- 町民の声 …… 12P



辰野町議会

かやぶきの館等は新たな指定管理者へ

—委員会において付帯決議—

町提出15議案、議員提出2議案を可決

12月定例会は、12月3日から18日までの日程で開催されました。

今議会に付議された議案等は、町提出の条例改正4件、平成30年度一般・特別会計補正予算10件（追加1件含む）、指定管理1件、請願・陳情7件、議員提出2件でした。

町提出議案は、質疑・討論のうえ、1議案を除き全会一致で可決しました。指定管理1件については、賛成多数で可決しました。

請願・陳情については、委員会審査を経て、2件を採択、2件を不採択、3件を趣旨採択としました。これに基づき、最終日に議員提出された意見書・要請書の提出を求める議案は、いずれも可決のうえ、国等へ意見書・要請書を提出しました。

条例改正と主な内容

審議会委員の定数を見直し

○一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

○議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例、特

別職の職員で常勤のもの等の給与に関する条例の一部改正

・以上2件は、人事院勧告に基づき改正。

○特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

・町議会議員が他の特別職を兼ねる時の報酬を支給することとするもの。

○農政審議会条例等の一部改正

・農政審議会・観光開発審議会・保健福祉推進委員会の定数を現状に合わせて適正化するもの。

30年度補正予算と主な内容

町内小中学校全教室に

空調設備設置へ

○一般会計補正予算(第8号)

問 町社協負担金の根拠は。

答 町が担うべき責務について社協へ委託しており、地域福祉を進めるための運営資金として人件費相当額を負担。

問 障害児施設措置費・障害者医療費増額の内容は。

答 障害児の放課後、デイサー

障害児の放課後、デイサー

障害児の放課後、デイサー

障害児の放課後、デイサー

ビスと障害者更正医療（心臓・腎臓等の内部障害の除去・軽減のための手術）の増。ペレット消費拡大事業補助金の内容は。

問 29年度までの事業（県全額負担）に代わり、新事業（町負担25%）を設けたため、ストーブ1台分を計上。

除雪委託料・樹木（城前線ケヤキ）剪定委託料の増額



城前線 ケヤキの現状

問 特定環境保全公共下水道特別会計補正予算(第1号)

・マンホール浮上防止工事の増額

問 対策の実施予定は。

答 国道には該当箇所がない。県道で樋口に1カ所あり、

来年施工予定。

○農業集落排水処理施設特別会計補正予算(第1号)

・北部西・上横川地区の新規公共マス設置工事費の増額

追加提案

○一般会計補正予算(第9号) (追加提案)

・町内小中学校空調設置工事費、来年度の辰野西学童クラブ移転新築に伴う電気設備改修工事費の追加。



西小高圧受電設備

問 空調設備工事の概要は。

答 5小中学校、105教室（普通・特別教室他）

○その他の補正予算

上水道事業会計、公共下水道特別会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、町立辰野病院事業会計、介護保険特別会計

その他の議案と主な内容

かやぶきの館等

指定管理めぐり賛否分れる

○公の施設の指定管理者の指定について

・かやぶきの館等のふるさと農村公園グリーンビレッジ横川を一般社団法人TUG BOAT(タグボート)に、世代間交流施設を世界昆虫館に指定管理させるもの。賛成多数で可決しました。(討論は下表のとおり)

《付帯決議への町長発言》

委員会での付帯決議に関連し、町長は指定管理者に対して、組織強化、グループ内協力体制の強化を求めていくと発言しました。

請願・陳情について

・下表のとおり

議員発議による意見書

○安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書

○上伊那の高校再編を早急に進めないように求める要請書：いずれも全会一致で可決

議案第14号「公の施設の指定管理者の指定について」に関する討論要旨

<p>〈議案に反対：小澤〉 応募2社の選定審査会での点数の差は僅か1点。類似施設の運営経験がないタグボートに対する評価は不自然。地域農業の活性化などの施設の目的達成のための三和会との取り組みや地元の要望書がきちんと評価されていない。タグボートの法人変更も予定されている等、不透明・不確定要素が多く、今議会で決定すべきでない。</p>	<p>〈議案に賛成：向山〉 指定管理の選定は税理士等を含む審査会において適正に行われた。タグボートは4者によるグループ申請の代表であり、審査はこのグループに対して行われた。農村交流等の取り組みは、どこでも最初は未経験の分野であり、タグボートには新たな展開を期待できる。かやぶきの館のあり方については更なる検討が必要である。</p>	<p>〈議案に賛成：根橋〉 かやぶきの館等は農業振興に深く絡んだもので、わら細工教室や炭焼き体験等行われたが、地元の高齢化に伴いやめざるを得なくなった。開発公社解散・指定管理移行によって議会の関与も少なくなった。川島地区の発展や地元との連携等、精力的に検討すべき課題。新たな組織を立ち上げ、中長期の経営改善計画を立てるべき。</p>
<p>※採決の結果は次の通り。(議席順) 賛成：向山・熊谷・山寺・篠平・中谷・宇治・成瀬・瀬戸・宮下・根橋・垣内・堀内 反対：小澤</p>		

請願・陳情の審議等の結果

件名	提出者	委員会審査	本会議		
			賛成	反対	議決結果
安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める陳情	長野県医療労働組合連合会	採択	13	0	採択
沖縄に寄り添う米軍基地の負担軽減は、辺野古新基地建設の中止が唯一の解決策です	平和って何だ・伊那谷	不採択	5	8	不採択
<p>〈不採択に反対：向山〉 2度の県知事選挙によって、辺野古新基地建設反対という民意は明らか。行政不服審査法によって国が県を訴えるのは法の趣旨を超えるものであり、強引な手法は沖縄の民意に背く。辺野古の新基地は普天間基地の機能をはるかに上回るもの。東アジアでは急速に緊張緩和が進み、新基地を造らなくても普天間基地は閉鎖できる。</p>	<p>〈不採択に賛成：宮下〉 普天間基地の一日も早い閉鎖・返還を求める要請がある。行政不服審査請求はその要請に基づくものであり、それを非難するのは民主主義の否定である。安全保障についての判断は国の専断事項。国民の生命・財産・領土を守るのは国の責任。平成28年の福岡高裁判決でも、地方公共団体が所管する事項ではないと指摘している。</p>				
国土交通省告示第15号の履行に関する陳情書	一般社団法人長野県建築士事務所協会	趣旨採択	13	0	趣旨採択
最低制限価格の設定に関する陳情書	一般社団法人長野県建築士事務所協会	趣旨採択	13	0	趣旨採択
耐震診断・耐震改修に関する陳情書	一般社団法人長野県建築士事務所協会 上伊那支部	趣旨採択	13	0	趣旨採択
消費税率10%への増税中止の意見書を提出することを求める陳情書	上伊那民主商工会	不採択	3	10	不採択
<p>〈不採択に反対：根橋〉 消費税率は10%への引き上げによって、国税の中で最も大きな割合になり、低所得層の負担が大きくなる。一方、所得税・法人税は引き下げられており、消費税率の8割は法人3税引き下げの穴埋めになっている。この間、社会保障費は一貫して削減されている。所得税・法人税の減税分を元に戻せば消費税率引き上げは必要ない。</p>	<p>〈不採択に賛成：成瀬〉 来年10月の消費税率10%引き上げはすでに決まっていること。先進国のほとんどは日本の倍位の税率で、教育、子育て支援、社会保障がきちんとしている。消費税率増税反対の人たちは財源確保策を示していない。国では幼保教育・保育の無償化、軽減税率の検討など盛り込んでおり、これからの若い世代の負担を少しでも減らしていくためにも、消費税率引き上げは必要である。</p>	<p>〈不採択に賛成：宇治〉 不採択に賛成であるが、消費税率の使い方はデタラメだ。有効求人倍率も良好で、景気が良くなったかのように見えているが、金融緩和・金融政策だけ。1200兆円の国の借金をどうするのか。軽減税率はやたらバラ撒く論理。長い目で見れば引き上げざるを得ないのであり、次の世代に借金を残さないことを考えることが必要である。</p>			
上伊那の高校再編を早急に進めないように求める請願書	高校再編を考える上伊那の会	採択	13	0	採択
<p>※賛否が分かれた採決(2,6)の結果は次の通り。(いずれも議席順) 2について 賛成：向山・中谷・宇治・瀬戸・根橋 反対：小澤・熊谷・山寺・篠平・成瀬・宮下・垣内・堀内 6について 賛成：向山・瀬戸・根橋 反対：小澤・熊谷・山寺・篠平・中谷・宇治・成瀬・宮下・垣内・堀内</p>					

臨時議会(第7回)

平成30年10月17日臨時議会が開催され、30年度一般会計補正予算第6号が審議されました。定住促進奨励金、移住定住促進費(空き家改修)の増額等で、全会一致で可決しました。

臨時議会(第8回)

平成30年11月5日臨時議会が開催され、30年度一般会計補正予算第7号が審議されました。灯油購入券交付事業に係わる補正で、全会一致で可決しました。

伊北議員研修会(10/15)

伊那市において、伊那市・箕輪町・南箕輪村・辰野町の議員による研修会が開催されました。

伊那市が進めている新産業技術推進の取り組みについて、民間企業から招いた専門技術者と市が協同して開発普及を進めるコミュニケーション型ロボットや、ドローン操縦士養成プログラムの講演等が行われました。

委員会審査から

総務産業常委員会

- 条例審査
- 陳情審査



いては1,500円を、また期末手当・勤勉手当については年間支給月数を0.05月分引き上げるもの。

問 辰野町のラスパイレレス指数は他市町村と比較すると低めであるが変化はあるか。

答 全国的に同様に引き上げが行われるのでラスパイレレス指数の高低に変化はない。

辰野町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例及び辰野町特別職の職員で常勤のもの等の給与に関する条例の一部を改正する条例

一般職の期末手当・勤勉手当の改定を踏まえ、年間支給月数を0.05月分引き上げるもの。

辰野町公の施設の指定管理者の指定

「辰野町世代間交流施設」は世界昆虫館に指定し、指定管理料は年間100万円（2年間）であるとのこと。

「ふる里農村公園・グリーンブリッジ横川」は、「一般社団法人TUG BOAT」

「共和堂」「アイコーポレイション」「馬淵商店」との4者によるグループ申請、「株式会社三和商会」の2社の応募がありました。選定委員会の評価集計表では極めて僅差ではあるが、指定管理料が5年間で1億2千万円対2億4千万円と大きく差が付きタブポートが選定されたとの説明がありました。

問 指定管理料の契約途中での変更を受け入れることはあるか。また、従業員はどのようなのか。

答 変更はない。現在のスタッフは継続雇用の方向だが、支配人は現在選定中である。

問 一般社団法人は非営利団体である。かやぶきの館を経営するのにふさわしくないのでは。

答 1月にも一般社団法人から株式会社法人格が変更される予定であり、それに伴い3月の議会定例会に再指名の議案を提出予定である。

採決の結果、賛成4、反対1により可決すべきものと決

道路問題について意見交換

当委員会では、10月30日、町建設水道課職員と町の道路事業及び道路網計画等について意見交換をしました。

生活道路の改良等については、「地元分担金があるので、各区から優先順位を付けてもらった要望箇所を2箇所位ずつ行っている」と説明がありました。

しました。委員会においては、以下の付帯決議をつけることを決定。

- ①タブポートは、今後事業の執行にふさわしい組織体制の充実、強化を図ること
- ②グループ内の協力体制の確立を図ること

以上を町からタブポートに求めること。

審査の結果 以上3件、可決すべきものと決しました。

陳情審査

沖縄に寄り添う米軍基地の負担軽減は、辺野古新基地建設の中止が唯一の解決策です

意見

①防衛省沖縄防衛局が一般国民であるかのように国土交通省に審査請求することは問題である、従ってこの部分を一

町では、「都市計画道路の見直し・生活道路網計画」について、各区の現況図を元に地区と懇談して行く、地域にある道路委員会等と一緒に道路網計画を作る検討会議の設置等考えを示しました。

委員会としては、辰野駅前地区の整備と同時に各地区の道路網の要望をしっかりと聞き、町全体の計画を立てることを改めて要望しました。

部採択し意見書を提出すべきである。

- ②沖縄県知事選では米軍飛行場移設反対派が勝利したことは事実だが、半数近くが移設に賛成していることも事実である。
- ③国策である防衛問題を地方議会では扱うのは困難である。

審査の結果 一部採択1、不採択5で不採択にすべきものと決しました。

国土交通省告示第15号の履行に関する陳情書

最低制限価格の設定に関する陳情書

耐震診断・耐震改修に関する陳情書

趣旨

以上3件は、建築物の設計・工事監理業務に関するものであり、一括審査とした。

12月12日総務産業常任委員会に付託された条例3件、陳情5件の審査を行いました。「辰野町公の施設の指定管理者の指定について」は12月18日再審査を行いました。

条例審査

辰野町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

人事院勧告により、給料表の400円引き上げを基本とするもので、特に初任給につ

審査の結果

全員一致で趣旨採択にすべきと決しました。

消費税10%への増税中止の意見書を提出することを求める陳情書

趣旨

住民の暮らし、地域経済、地方自治体に深刻な打撃を与える消費税率の引き上げを中止することを強く求める。

意見

- ① 国の借金を考えると上げざるを得ない。10%を見越して色々な施策が動き出している。
 - ② この10年で比較すると、消費税収入が増加する分法人税収入が減少している。貧困格差が広がり深刻な問題となる。
 - ③ 消費税は一気に15%に上げるべき。社会福祉費等の負担が大きすぎ、このままでは財政破綻を来たすことになる。
 - ④ 軽減税率等まだ決定していないことが多く、国の動向も注視し、継続審査を提案する。
- 審査の結果** 継続審査について少数で否決した後、採択1、不採択5で不採択にすべきと決しました。

委員会審査から

福祉教育常委員会

● 請願・陳情審査



12月12日、福祉教育常任委員会に付託された請願・陳情各1件の審査を行いました。

● 請願・陳情審査

上伊那の高校再編を早急に進めないように求める請願書

趣旨

上伊那では県下で唯一、県教委の方針に沿って「高校の将来像を考える協議会」が発足し、2019年2月には再編案の成案を公表している。上伊那では中学校

卒業予定者数は7年間で百人程度減少、高校再編を急ぐ必要はない。35人学級を目指す等、検討すべき課題が多くあり、次の事項について協議会へ要望書の提出を求める。

- 1. 来年2月という拙速な再編案決定をしないこと。
- 2. 住民が自由に参加できる意見を聞く会を開催し、住民に説明をしながら進めること。

意見

① 上伊那広域の白鳥連合長は「教育問題は広域連合では扱わない」としていたのに、正副連合長会で協議会設置を提言したのはおかしい。

② 上伊那の生徒数の減少は松本とともに少ない。

③ 校長会の検討案が先行して報道されるのは既成事実化を図っているのでは。

④ 学びが多様化しており総合技術校や総合学科校は必要。

⑤ 県教委は35人学級について検討すべき。

審査の結果

全員一致で採択、一部文言を補強して要請書を提出すべきものと決しました。

安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める陳情

趣旨

国は医療職場や介護職場の勤務環境改善の手だてを講じてはいるが、具体的な環境改善には至っていないことから、次の事項について意見書の提出を求める。

- 1. 医師・看護師・医療技術職・介護職などの夜勤交替労働における労働環境の改善（労働時間の上限規制、夜勤回数の制限など）
- 2. 医師・看護師・医療技術職・介護職の増員
- 3. 患者・利用者の負担軽減

意見

① 医師だけでなく、看護師も足りない。介護職、介護福祉士などもっとひどい状態。

② 患者、利用者の負担軽減として保険料や一部負担金の軽減が必要ではないか。

審査の結果

全員一致で採択すべきものと決しました。



夜勤・準夜の引継ぎ (辰野病院)

町社会福祉協議会について調査・研修

当委員会では、12月20日、町社会福祉協議会の事務局長等を招いて、社協の実情について調査・研修を行いました。

社会福祉協議会は、社会福祉法に基づいて各自治体に組織されています。従来、運営資金の多くが自治体から出ており、業務も自治体からの委託事業が中心でした。しかし、近年、介護事業等の業務が拡大する一方で、民間事業者と競合することになり、運営面で厳しくなっています。

今回の研修を通じて、議会としても、町社協のあり方、町の福祉施策との関係について研究していく必要があることを確認し、近隣の社協についても視察研修することにしました。

板沢最終処分場問題 3年目になるが

町長 地下水への影響など
専門家と勉強している



むかいやま ひかる 議員
向山 光



塩嶺累層に関する勉強会

貞幸名誉教授に話を聞くなど、塩嶺累層における影響を勉強している。岡谷市の調査結果もあり、一緒に話を聞いていきたい。

板沢最終処分場問題 改めて町長の姿勢は

町長 町の命の水が汚されないよう、地域住民と一体となって白紙撤回を求めていく。
川島小存 へ町長見解と教育委員会の対応は

問 3月の総合教育会議では「川島小学校存続に向け、3年間挑戦させてほしい」と町長が表明したが、会議では結論が出ていない。教育委員会の中でのように検討したのか。

町長 小・中学校あり方検討委員会の提言や教育委員会の考えは尊重し、その方向性は無視していない。移住・定住に本気になって取り組む決意である。

教育長 教育委員会で子どもの学びという観点で見解をまとめ

た。町長の表明で見解を変えたり、提言内容を変更したりするものではない。教育委員会の意見は一致している。

文化財保護法改正と 町の対応は

問 文化財保護法改正の担当を町長部局に移すことができるようになったが、
教育長 専門的、技術的な判断の必要性や、社会教育・学校教育との連携を考えると、今後も教育委員会所管が望ましいと考える。

**平出保育園の
今後に向けた考えは**
問 平出保育園は安心安全など多くの課題を抱えている。改築計画が先延ばしになっているが、どんなイメージを持っているか。

教育長 子どもの発達にとっても竜東地区に平出保育園は必要だ。新築は難しいが、地元区と協議しながら、他施設との一体化や連携も視野に検討する。

奉仕団の あり方委員会設置の考えは

町長 奉仕団内部での改革案が見い出せなければ検討する



やまであら み 議員
山 寺 はる美

問 奉仕団のあり方について町長の考えは。

町長 町民にとって奉仕団は大切な組織。今後も奉仕団活動を持続してもらうには、時代に即した改革が求められていることは承知している。

問 分団長会での検討内容は何か。
課長 川島分団の団員確保は深刻。消防団との関わりが多く負担、団服の改革、日赤社費を区費の一部として集められないか、救急法の大会をもっと簡単に

できないか等々意見は出たが答えは見い出せなかった。

問 奉仕団の中だけで議論しても幹部と団員との温度差は大きく、改革の意見はまとまらないと思う。別の組織を設けて奉仕団のあり方について検討すべきと思うが。

課長 活動の見直しや消防団との関わりなど、できる事から手を付けたいが、意見が出にくければあり方委員会の設置も考える。



奉仕団 出初式

辰野病院の現状は
問 院内改革の4つのプロジェクト、1年経ったの成果は。

事務長 お手軽検査や糖尿病教室、出前講座の実施、職員が動き、意識改革にも貢献している。また院長も病院経営について勉強している。

問 泌尿器科医師の要望があるが。
事務長 来年度の内科体制の構築が最大の課題だが、泌尿器科も週1回で検討している。

問 救急車搬送を除く救急医療の受け入れ体制は。
事務長 辰野病院で診られるものは受け入れる方針。

**小中学校の夏休み延長
についての対応は**
教育長 授業時間確保との兼ね合いから、実施しても3日程度ではないかとみている。働く親の事情と子どもの居場所対策などと合わせて検討する。

事業承継への支援施策は

町長 実態調査に基づき
支援ネットワークづくり等に

取り組みたい



おしお 俊 議員
ねばし 根橋

る。

問 具体的な支援施策としてどのような対策を考えているのか。

課長 企業経営や就業を希望する者とのマッチングを効果的に進めるため施策を講じているが、制度の啓発・広報にさらに努めるとともに、提案のあった税理士等の専門家との支援ネットワークを構築するなどの施策に取り組みたい。

運動免許証自主返納者に対する支援の考えは

問 高齢者の運動免許証の自主返納促進に向けて、伊那市や箕輪町で支援施策の取り組みが進んでいるが、町の支援施策についての考えは。

課長 他の市町村で支

援策が実施されていることは承知しているが、現時点では費用補助については考えていない。今後検討してみたい。

デマンドタクシー制度の見直しは

問 デマンドタクシー制度については、発足以来5年が経過したが、なお、事前予約、運行経路、ダイヤ等について見直しを求める意見が寄せられている。デマンドタクシー制度について、県の交通アドバイザー派遣事業による見直しはどのようになっているのか。

課長 県の交通アドバイザー派遣事業によるデマンドタクシー制度についての大きな見直し提言は無いが、まちなか停留所を増やすなど利便性の向上対策を考えている。今後、時代に合ったデマンドタクシー制度のあり方について検討することが必要と考えている。

駒沢川ダム代替事業の進捗状況は

町長 ダム代替3事業のうち、
利水対策は成果だと思う



うじ 徳 議員
のりみち 宇治

問 駒沢川ダム代替事業の受け止めと町長の現状認識は。

町長 駒沢川ダムについては、脱ダム宣言以降の地元流域協議会によるダム同等の河川改修、利水新水源探索、新規農業用水ため池も視野に「ダムに寄らない3事業」を決め、平成23年に県に提案して

いる。その中で藤沢新水源の探索、駒沢浄水場の竣工は利水対策の成果と考える。

問 駒沢川河川改修計画とその進捗は。

課長 平成23年度策定の天竜川水系伊那圏域河川整備計画では、駒沢川の整備区間は3.7kmで、事業の進行は1.75km。上・中流の護岸整備が優先されている。事業費は2億円で、全体進捗率は17.4%（8,800万円）となっており、当初計画よりかなり遅れている。

浅川ダムが完了したので、地元と一緒に県に強く要望して行きたい。

問 下町水源の廃止新水源でヒ素対応の可能性及び実施時期は。

課長 1日需要量625トンに対する配水池が380トン必要に対して、駒沢が220トンで160トン不足するため、駒沢配水池の増設計画を平成31年度か

ら作成する。完成すれば実施できる予定。

問 駒沢川農水対策の計画と現状は。

課長 現在実施している県主体改良事業を含め、細洞ため池と同水系大の洞ため池の漏水防止対策や押野地区の水路改修を重点に実施している。

問 駒沢川ダム代替事業は停滞しているという認識は。

課長 新規ため池については実地での調査はしていない。町財政的に厳しいという判断から、当面出来る事業を先行している。

県は4年前にため池の一斉点検を実施。細洞について「豪雨対応の緊急性は低い」「地震に対しては中位の優先度」とされた。

問 農水対策の再構築を強く要望したい。

課長 確かに抜本的解決に至っていない。代替事業と現状の課題を見据えて検討したい。

アラパ開設6カ月、1日の利用者数は

町長 町内66人、町外46人、全体で112人



なるせえつこ 成瀬恵津子 議員

アラパの利用状況は
問 開設から6カ月、各スタジオルームの1日平均の町内外利用者数は。
課長 トレーニングジムは、町内48人、町外25人。ボルダリングは町内9人、町外10人。キックバイクは町内外共に1人。防音スタジオは町内9人、町外8

人、館内全体で112人。(町内66人、町外46人)
問 キックバイクの屋外暑さ対策の考えは。
課長 来年から屋上ではなく、旧プール跡地にコースを作り、テントを張り対策を考えていく。
問 トレーニングジムの空間が狭いという声があるが。
課長 利用者からそのような声がある。今後、1階は筋トレーニング、2階は有酸素運動ルームを作っていく考えである。

問 ボルダリングの中学生以下の使用料金が高いとの声がある。見直す考えは。
課長 他の施設より安い。見直す考えはないが、町内の方に割引券を出す方向でいく。
問 アラパ周辺の街灯をもっと明るくし、入りやすくする考えは。
課長 暗いと言う声がある。駐車場にLEDを付け、入口には街灯を設置し明るくしていく考えである。
問 アラパへのアクセス、案内板の考えは。
課長 案内板を立て誘導を促していく。
エアコン設置の計画は
問 保育園へのエアコン設置の計画は。
町長 41室に設置する計画である。
問 エアコン使用時の電気料1シーズン当たりの想定額は。
課長 6小中学校231台で、1千70万円を見込んでいる。
問 電気代の財源は。
課長 一般財源から負担する。
問 節電の指導は。
課長 使用にあたってのルールが必要。エアコン運用ガイドラインを定め徹底していく。
問 総務省所管の緊急防災・減災事業債を活用し、災害時の避難場所である体育館へエアコン設置の考えは。
課長 現在予定はない。

防災グッズの配備計画は

町長 家庭用備品セットとして 三千万円で斡旋販売する



ほりうち たけお 堀内武男 議員

町長 就任1年を経過しての所感と次年度に向け重点施策は
町長 「町民に幸せ」民意が政策の原点」を信条に行動してきた。今後も緊張感、使命感を持って励みたい。
問 公約で幸せを実感できる町づくりを掲げたが、産業振興、人口減少対策の実施状況は。
町長 企業支援室を新設し、企業訪問でデータベースの構築を進めている。共同受注・異業種間のマッチングを本格実施したい。

課長 人口減少対策を重点課題とし活動を展開し、移住支援制度を利用して移住者が29年度85名と飛躍的に伸び、本年度も堅調。
問 平成31年度予算編成に対する基本的な考え及び予算規模は。
町長 情熱(意思)と方針(意志)を入れ、効果的な施策を打ち出す。予算規模は本年度と同額に近い84億円を見込んでいる。
防災・減災対応は
問 防災グッズへの対応は。
町長 防災は自助が大切で、各家庭で防災グッズを常備する意識づけに繋げる。物品は多機能ダイナモラジオライト、マルチツールナイフ等で定価9千円のうち6千円を補助する。

問 災害に強いまちづくりの考え及び施策は。
町長 行政が担う防災は住民の生命を守ることであり、そのために適切な避難情報等の発令に心がけ、危機管理に努めている。自助・互助・公助すべてが揃うことが、住民を守ることに繋がると考え活動を展開していきたい。
問 備蓄食料品類の期限切れに対する活用・廃棄状況は。
課長 3千6百食を備蓄し、期限の半年前頃から学校での防災学習、町防災訓練、フードバンク信州等で活用し、廃棄品はゼロである。
問 地域防災計画書の運用状況、ハザードマップ等の最新版管理は。
課長 平成29年度が最新版。毎年の防災会議で審議される。今後危機管理係で加除を行い、災害記録の更新、マップ等に日付を加え、最新版管理に繋げる。

道路網計画策定はどのように

町長のビジョン・計画をまとめてから
町民の合意形成を図りたい



議員 久司 久 熊谷 久司

問 町づくり計画である都市計画マスタープランの見直しが実施されていない。道路網計画はこの見直しと並行して行うべきと思うが。

課長 辰野町の将来像を示した総合計画と整合の取れた道路網計画としなければならぬと考えている。そのため、委員会を立ち上げたい。

問 道路網計画策定に当たり町民の参画をどのように進めるか。

副町長 町は今年度各区での道路懇談会を計

画し、11月には第一回目として平出地区で実施した。この中で町内では過去に数々のワークショップが開かれ、色々な画が描かれ、逆に混乱しているとの意見が多く、町の計画・ビジョンを先にまとめる必要を感じている。

財政力向上にむけての取り組み

問 町の財政力指数は隣接市町村の中で一番低い値である。この改善策は人口増加と産業振興であるが、最近の出生数の減少は特に問題で直近の10年で約4割も減少している。出産・子育て支援が大事だが、町の取り組みは。

課長 町の人口ビジョンでは2040年の合計特殊出生率は2.07であるが、2016年

度は1.24と低い値である。出産祝い金・結婚祝い金については検討したが実施には至っていない。保健福祉課では妊娠届が出され母子健康手帳を交付する時から保健師が全員に話し面談相談を行い、パンフレットを配布し、町の子育て支援体制について説明している。

課長 こども課では、保育園の保育士の配置について、国の基準よりも手厚くしている。食育に関しては栄養士1名が担当し各園を巡回し、給食調理員と連携して安全な給食に努めている。

問 産業振興策として町は工業用地・商業用地をどのように確保、斡旋していくか。

課長 農振地等が多く用地は限られているが北沢東地区が有望で、今後地権者の同意を得て予算建てを行い、遺跡発掘本調査を実施していきたい。

「校舎併設型小中一貫教育校」の検討は

今は、考えていない

教育長



議員 彰 垣内 彰

問 昨年、町長が「校舎併設型小中一貫教育校」という提案をされた。その検討は進んでいるか。

教育長 検討はしていない。数が減って小学校も1校にせざるを得ない状況になった時はその構想も考えられるが、今は考えていない。

要望 昨年、教育委員

会が出した「一学年10人」の枠が満たされている間は町内に複数の小学校を維持する、ということだと思うが、それらを包括する形で考えられたのが武居町長の「校舎併設型」構想だ。ぜひ検討してほしい。

問 高校再編と町の教育環境についての考えは

課長 辰野高校から町に相談、要請はあったか。

課長 7月に校長・町長・関係者等で意見交換会を持った。校長から、地域の意見も聞きたいと町の協力を要望された。

問 町長・教育長の考えは。

町長 宮木駅から辰高までの通学風景がなくなることは考えられない。地域経済への大きな影響もある。存続に向け、活動をして行く。

教育長 上伊那は流出超過だ。上伊那の中学を卒業する生徒の約3割が他地域へ進学して

いる。逆に5%の生徒が外から上伊那に入ってくる。辰野高校がここにあることによって、流出が3割に留まっているとみている。

ど真ん中作戦会議のねらい・効果は

課長 知名度が上がリ観光や産業振興に結びつき、移住のきっかけになり、定住などの人口増に繋がれば良い。

問 今回の作戦を戦術会議で終わらせるのか、戦略まで推し進めるか。

課長 第3回の作戦会議の中で、戦略という大きな方向性が見えてくるものと考えている。

意見 今後、戦略的な組織を整えていくという様に理解した。



第3回道真ん中作戦会議

小規模水道への対応は

人的・技術的支援を行う



おざわ むつみ 議員
小澤 睦美



川島区源上地区

問 安全で安心な水道水確保に向け、源上地区に対しても、対応策を取るべきと思うが。

課長 水道法に言う20人以上の施設とならないが、人的支援及び技術的支援によることを優先させていきたい。

問 防災無線が聞き取れない地区がある。町内全戸に告知システムを配付できないか。

課長 専用端末が全戸分ない。それに代わり火災など緊急情報は、携帯で受信できるEメール配信サービスを提供中であり、この登録を伸ばしていきたい。

問 支え合いマップの作成時や災害時に現在のような個人情報扱いで通用するか。

課長 町は、支え合いマップの作成にあたり、自ら要援護者名簿等への登録を希望した者の情報を収集する住民参加型の「手上げ方式」を採用している。しかし、緊急かつやむを得ない理由があるときは、本人の同意は要らないものとしている。

問 防災訓練について緊張感を持った訓練となるよう町の指導が必要ではないか。

課長 広報等を通じて訓練の大切さを伝えていきたい。

問 夜間訓練、また外国人への災害時の対応も必要ではないか。

課長 夜間訓練は、来年度訓練を行う地区を選定していきたい。また、外国人へは翻訳アプリ等の対応も行っていくきたい。

問 消防団員の確保対策は機能別消防団員とは。

課長 大規模災害や地元火災対応などに特化した団員。消防団員経験があり、すでに知識や技術が備わっている方の加入を想定している。

訂正 議会だより71号の問の文中「将来はないと結論」を「将来はないとある意味結論」に訂正。

中学校卒業後の引きこもり等の支援は

こころの相談室などから支援につなげていく



せと じゅん 議員
瀬戸 純

問 小・中学校でのいじめ・引きこもり等に対する支援は。

課長 聞き取りなどで日々実態把握をしている。学校を中心に関係部署と連携をとり対応している。

問 中学校卒業後や成人してからの引きこもり等への支援は。

課長 相談はなかなか来ない。実態把握は難しい。こころの相談室等から支援会議で考え、県の機関とも連携して対応する。

問 高校再編懇談会参加への呼びかけを

課長 辰野高校存続に向けた町の取り組みは。理事者と校長との懇談を予定している。また、辰野高校卒業の役場管理職・議会議員で「辰野町役場高校未来会議」を立ち上げ、今後同窓会などと共に辰野高校のこれらを考えていくことになった。

問 今年4月にぬくもりの里からJAが撤退し、その後の利用計画がないまま現在に至っている。

課長 平成29年10月から「長野県あんしん創造ネット」事業（入居保証・生活支援事業）を県が実施している。

問 この事業は市町村の社協が行う事業だが、辰野町社協はネットワークに参加していないので、町として加入促進をしていく。



2018年12月10日 ほたるの里音楽祭 DON 鼓 DON の演奏



日本のど真ん中作戦会議

問 日本のど真ん中作戦会議の今後の展開は。
課長 参加者のアイデア実現へプロジェクト



みやした としお 議員
宮下 敏夫

『日本のど真ん中作戦会議』の今後の展開は

町長 アイデア実現へプロジェクトチームを設ける

チームを設け、住民、企業と連携し、ほたると二本柱で町のイメージアップを図る。

今冬の除雪対策は

問 11月開催の除雪会議の概要は、いつ区長会に周知するのか。

課長 通勤、通学時の交通確保を目的に、三次路線まで設定し除雪を行う。交通量の多い主要道路は積雪5〜10cmで作業開始する。

12月の区長会で詳細を説明し、除雪後の雪の除去や歩道の除雪への協力をお願いする。

問 雪害対策で課題となった善知鳥峠閉鎖時の交通情報案内掲示板はいつ設置されるのか。

課長 松本建設事務所が管轄し、現在善知鳥峠の塩尻市側にチェーン着脱所が設置された。さらに道路幅を確保

するための堆雪帯の設置を進めていて、掲示板はその完成後の2020年を目標とし

ている。町として早期設置の要望は上げている、掲示板設置の際は用地確保への地元協力をお願いしたい。

町役場庁舎の大規模改修の方針は

問 庁舎は計画通り大規模改修にするのか、部分改修にとどめるのか。大規模改修ならいつ着手するのか。

課長 先送りとなっているが、大規模改修をする方針である。ただし、財政事情もあり、何年までとは言えない状況。

問 2・3階トイレの洋式化やエレベーター設置など改善できるところは進めるべきでは。

課長 実施設計がされておらず、工事が手戻りにならないようにする必要はある。ただし、緊急性のあるものは大規模改修より先行することもあり得ると考えている。

*** 第13回議会報告会開催 *** (11月16日(金) 町民48名参加)

全体会では、総務産業・福祉教育常任委員会、議会広報委員会、議会あり方検討委員会から、平成30年6月から10月までの活動報告を行い、常任委員会ごとの分科会による活発な意見交換会が行われました。

総務産業常任委員会

テーマ 地域の防災対策
「あなたの感じる不安なこと」を町民の皆さんと意見交換

発言① 防災士の指導で避難所設置訓練を行った。受け入れ態勢や部屋割りなど、考えていたことと違っていた。避難所開設訓練は行うべき。

発言② 水害を想定した訓練を行っているが、土砂崩れに対する避難場所は決まっていない。災害に合わせた避難場所の確保が課題。

発言③ 雨天などの時は、防災無線は聞き取りにくい。無償で全家庭へ告知システムを支給すべきだと思う。

発言④ 夜間や雨天時の訓練や、外国籍の方に対する訓練も検討してほしい。

委員 避難所開設訓練や夜間等の訓練が必要だと考える。今回の意見を政策へ反映させたい。

福祉教育常任委員会

テーマ 辰野町の医療について考える
・辰野病院の現状について
・上伊那医療圏の現状について

発言① 辰野病院は糖尿病教室を開き、お手軽検査も500円からやっている。多くの町民に広報し周知徹底の努力をしてもらいたい。

発言② 上伊那の医療圏は、4つの病院と開業医が連携を取り、診療所間の連携も進んでいる。岡谷病院、諏訪日赤もある。失望しないで期待してもらいたい。(開業医)

発言③ 他の市町村には開業医の先生方が増えるのに辰野町にはなぜ開業医ができないか。

委員 小さな町で病院を持つことは大変。辰野病院も改革を進めているし、開業医の先生も心骨削って奉仕いただいている。そういうことを町民の皆さんにお知らせしていくことが大事。

たくさんのご意見・ご要望ありがとうございました。

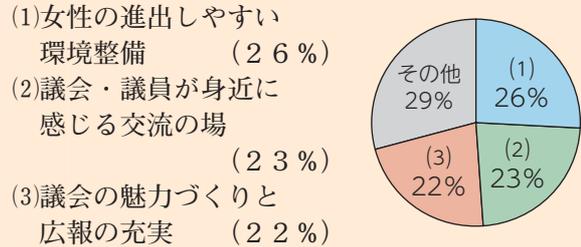
辰野町議会・議員に関する住民アンケート結果から -その2-

次期選挙への提言 議員定数・報酬は現状維持とする

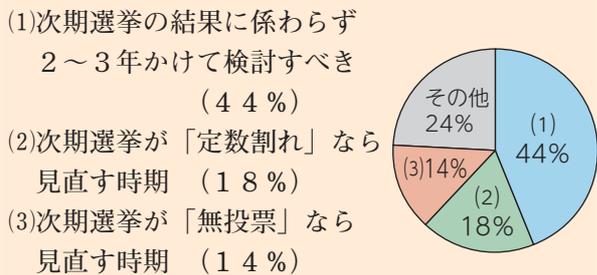
質問7 議員の「なり手不足」について どの様に考えるか



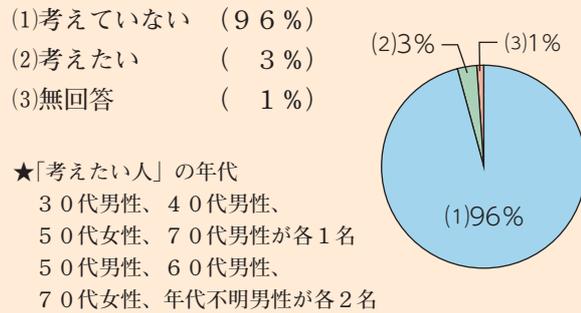
質問8 議員の「なり手不足」にどのような対応策が必要か



質問9 議員定数・議員報酬の見直し「時期」についてどのように考えるか



質問10 議員をやってみたい考えは



【議員定数】 アンケート結果では、「現状のままで良い」とする回答が50%を占めたことから、議会としては次期選挙は「現状維持」とすることで合意された。

【議員報酬】 アンケート結果では、「現状のままで良い」が43%だったこともあり、議会としては、定数同様「現状維持」とすることで合意された。

【なり手不足対応等】 次期選挙が「無投票」「定数割れ」の場合はもとより、選挙後「2～3年かけて定数・報酬をセット」で特別委員会等を設置して十分検討され、住民合意のもと時代にマッチした結論が得られるよう、議会の提言とした。

町民の声

町議会を傍聴して

川島 土田 秀実

議会の傍聴をして気になっていることの一つに、傍聴する人の少なさがあります。時には報道関係の方以外に誰もいないこともありまして。良く解釈すれば多くの町民の皆さんは議会を信頼してお任せしているということかも知れませんが、それだけではないような気がします。もちろん議会は平日であり勤めや仕事の制約は止むを得ませんが、町政に無関心という側面もあると思います。私自身、区長を務めたあたりから少しずつ身近に感じるようになってきました。

町の動きは広報や報道などで知ることができませんが、やはり議会でのやり取りを生で見ることができ、より深く理解することができると感じています。傍聴席が満席になり抽選?などとなったら議員さんも町長さんをはじめ町の担当者の方も更にやりがいを持って論議をされ、それが町の活性化にも資するのではないのでしょうか。町にはこれからの展開の予測が難しい問題も数多くあります。貧乏暇なしの毎日ですが、時間を割いてできるだけ傍聴に行こうと考えています。

編集後記

広報副委員長 瀬戸 純

現在のメンバーで行った最後の議会報告会へのご参加ありがとうございました。

この4年間、課題を絞り、分科会方式で町や議会への要望をお聞きしてまいりました。様々なご意見をいただきました。今後みなさんの声をお聞きする機会を増やし、議員が地域に出るなど、身近な議会を目指し、より一層の議会運営のあり方や議会活動を検討し、様々な方法で発信して行かなければならないと考えています。

一般質問のインターネット(YouTube)での動画配信、議会についてのアンケートも実施しました。今後も議会活動を知っていただくため努力してまいります。引き続きご意見・ご要望をお寄せ頂きますようお願いいたします。